

四国8の字ネットワークのミッシングリンクの早期整備

政策提言先 国土交通省

政策提言の要旨

本県では、人口減少や高齢化等により経済が縮小する負の連鎖を克服するため、地産外商の強化や拡大再生産の好循環の創出による経済の活性化に取り組んでいます。「四国8の字ネットワーク」の整備により、大都市圏と地域、地域と地域との連携を強化し、県内各地の特性を活かした様々な取り組みを力強く後押しすることが不可欠です。また、近い将来、発生が想定される南海トラフ地震対策にも重点的に取り組んでいます。南海トラフ地震への備えとして迅速な救助活動や広域的な支援・受援体制を構築するうえで「四国8の字ネットワーク」は重要な基盤となります。

このため、地域経済の活性化の要となり災害時の生命線となる高規格道路の整備については、道路関係予算全体を拡大したうえで整備に要する予算を確保し、国において確実に進めることが必要です。

○地域の経済活動を支え、南海トラフ地震時の命の道となる四国8の字ネットワークの整備は急務

1. 計画段階評価実施中区間の早期完了！
2. 計画段階評価完了区間の早期事業化！
3. 事業中区間の早期完成！

【政策提言の具体的内容】

地域の経済活動を支え、南海トラフ地震時の命の道となる四国8の字ネットワークの整備は急務

地域経済の活性化に向けた取り組みを後押しし、南海トラフ地震時の緊急輸送道路となる高規格道路の整備は、道路関係予算全体を拡大し、国において確実に進められるべきと考えます。

1. 計画段階評価実施中区間の早期完了！

最後に残る空白区間を埋めることで、整備効果を最大限発揮することが可能となります。

- 四国横断自動車道 宿毛～内海間
- 阿南安芸自動車道 奈半利～安芸間、野根～安倉間（直轄代行要望区間）

2. 計画段階評価完了区間の早期事業化！

地震発生時の迅速な救急活動や物資搬送を行うためには、高規格道路の早急な整備が必要です。

- 四国横断自動車道 佐賀～四万十間
- 阿南安芸自動車道 牟岐～野根間

3. 事業中区間の早期完成！

事業中区間を早期に供用開始することで、高規格道路の整備による様々な効果を早期に発現することが可能となります。

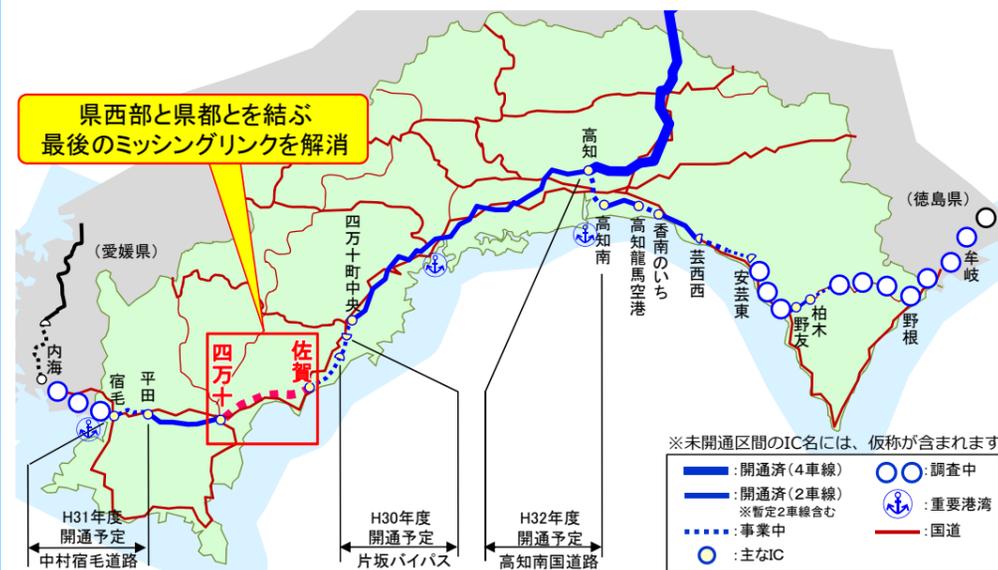
- 四国横断自動車道 窪川佐賀道路、片坂バイパス、中村宿毛道路（平田IC～宿毛IC間）
- 高知東部自動車道 高知南国道路（高知JCT～高知南IC間）
南国安芸道路（高知龍馬空港IC～香南のいちIC間、芸西西～安芸西IC間）
- 阿南安芸自動車道 安芸道路

【政策提言の理由】

◇高規格道路の延伸を見据えた地産外商の強化と拡大再生産の好循環へつなげる産業振興の取り組みを後押し、また、南海トラフ地震発生後の迅速かつ円滑な救援活動や物資搬送を行うため、高規格道路網「四国8の字ネットワーク」の整備を加速することが必要です。

【高知県担当課】土木部 道路課

四国8の字ネットワークの整備状況



●四国横断自動車道「佐賀～四万十」間の状況



地域防災力の向上に向けた取り組み

- ① 黒潮町役場庁舎の高台移転による防災機能の確保
- ② 高速道路本線に隣接する防災広場の整備



- 津波浸水が想定されない高速道路IC近隣の高台に役場庁舎を移転
⇒南海トラフ地震発生後の防災中枢機能を確実に確保
- 新庁舎や防災広場と沿岸部の集落やスポーツ施設等とを結ぶ、車による避難を想定した町道整備を計画
⇒住民やスポーツ施設利用者などの円滑な避難を確保

- 庁舎と高速道路に隣接して、発災直後の避難場所や救援物資の集配拠点等となる防災広場を整備 (H29年度完成予定)
⇒住民の命を守り、命をつなぐための拠点を確保
- 高速道路と新庁舎や防災広場とを直接結ぶ緊急連絡路の整備に向け、関係機関が調整中
⇒防災拠点への確実で迅速な物資輸送等の確保
- 防災機能と商業機能を併せ持つ拠点等の整備構想

佐賀～四万十の延伸

佐賀～四万十の延伸

高速道路の整備と一体となった防災拠点の整備による地域防災力の向上

交流人口の拡大に向けた取り組み

- ③ 県立公園を活用したスポーツ合宿・大会の誘致
- ④ 歴史博覧会の開催を通じた持続的な観光振興



- 官民一体となった合宿・大会誘致により県内外からのアマチュアスポーツ合宿や大会利用が急増
- さらなる誘致拡大を図るため、施設を充実
- 多目的グラウンドの人工芝化(県:H29年度完成予定)
 - 大方野球場の投球練習場への屋根設置等(町:H29.2完成予定)
- 県道中村下田ノ口線(下田ノ口工区)
⇒土佐西南大規模公園と高速道路ICとのアクセス向上

佐賀～四万十の延伸

スポーツツーリズムのさらなる増進



- 歴史を中心とした博覧会「志国高知 幕末維新博」を県内全域で開催(H29.3.4日開幕)
- 幡多地域の地域会場3施設*において、認知度の向上とより多くの誘客を図るため、リニューアルを実施
- *幡多地域の地域会場
四万十市立郷土資料館、宿毛市立宿毛歴史館、ジョン万次郎資料館
- 四万十市立郷土資料館が立地する都市公園園路(車道、歩道)の改良
⇒観光客の安全性と利便性の向上

佐賀～四万十の延伸

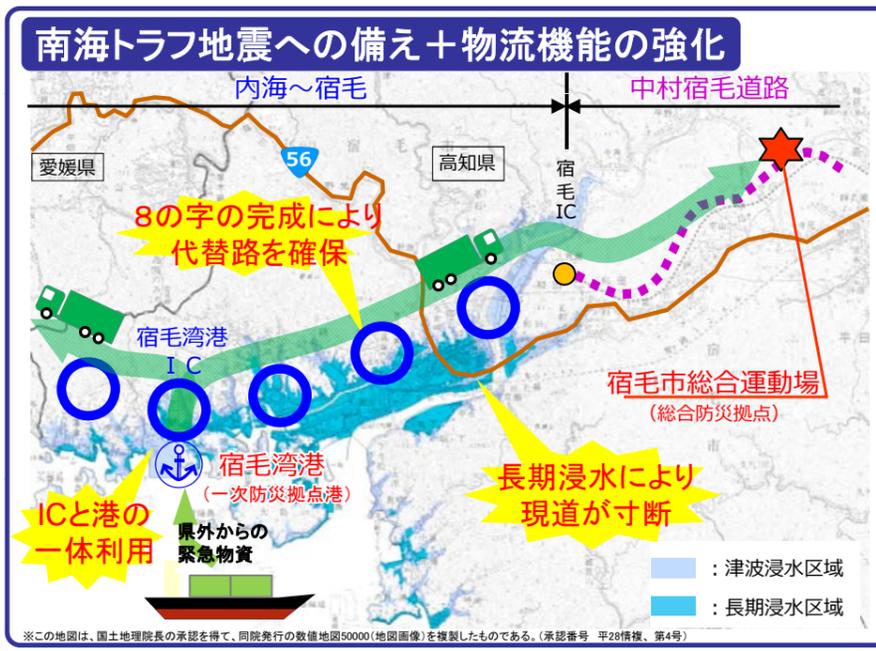
観光資源の連携強化による観光誘客

高規格道路の整備状況

- 凡例
- : 開通済 (4車線)
 - : 開通済 (2車線) (暫定2車線含む)
 - : 事業中
 - : 計画段階評価中区分
 - : 都市計画決定調査中区分
 - : 調査中区分 (県施工)
 - : IC
 - H○○: 開通予定年度
 - ⚓: 重要港湾



(注) 事業中区分のICの名称は一部仮称



宿毛湾港ICの整備による物流機能の強化・総合防災拠点と1次防災拠点港との連携強化

■南海トラフ地震への備え

- 宿毛市総合運動場 (県の総合防災拠点) 備蓄倉庫等の整備、運営マニュアルの策定
- 宿毛湾港 (1次防災拠点港: 緊急物資等の受入れ、輸送を行う拠点となる港) 耐震強化岸壁の整備、港湾BCPの策定
- ICアクセス道路 (県道宿毛城辺線) の整備 長期浸水の影響を受けない宿毛湾港ICアクセス道路を検討

8の字の完成

- 陸・海の連携により地域全体の防災機能が向上
- 防災拠点と港を活用した広域的な支援が可能

■物流機能の強化

- 防波堤の整備 (H30年度完成予定)
- 交流拠点施設の整備 (H21年度)

8の字の完成

- 防波堤の整備による港内の静穏性の確保と相まって、利便性が向上し、さらなる利用促進につながる

地域の経済活動を支え、南海トラフ地震時の命の道となる四国8の字ネットワークの整備は急務

- 計画段階評価実施中区分の早期完了!**
 - 四国横断自動車道 宿毛～内海間
 - 阿南安芸自動車道 奈半利～安芸間 野根～安倉間
- 計画段階評価完了区分の早期事業化!**
 - 四国横断自動車道 佐賀～四万十間
 - 阿南安芸自動車道 牟岐～野根間
 - 四国横断自動車道 窪川佐賀道路 片坂バイパス 中村宿毛道路
- 事業中区分の早期完成!**
 - 高知東部自動車道 高知南国道路 南国安芸道路
 - 阿南安芸自動車道 安芸道路

西部の整備状況



高規格道路の延伸を見据えた取り組み ■「高知県産業振興計画」による水産振興

● 宿毛市における水産加工業の育成

▲ 宿毛さかな工房
・ H23.3 加工施設稼働
・ 鰹たたき、干物等を生産
・ 全国55のグループ企業レストランで使用される食材も加工

▲ (株) 沖の島水産
・ H26.6 加工施設稼働
・ カツオやブリ等の加工品を生産
・ 販路拡大に向け、近畿地方等の催事に積極的に出店

● 大月町における養殖漁業の振興

▲ クロマグロの養殖生簀 ▲ 製氷・出荷施設 (橋浦漁港)
・ 漁協による製氷施設や養殖業者による出荷施設の整備 (製氷施設：H26年度、出荷施設：H25年度)
・ 漁港と四国横断自動車道とを結ぶ国道、県道を整備中

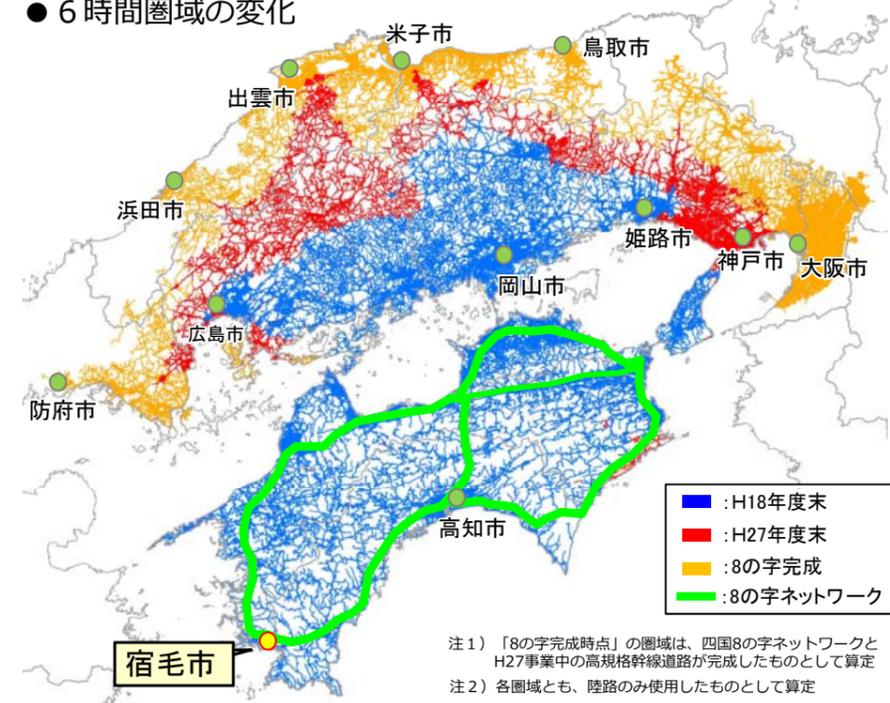
◆ 産業振興の取り組みによる効果

【水産加工施設の立地と雇用】

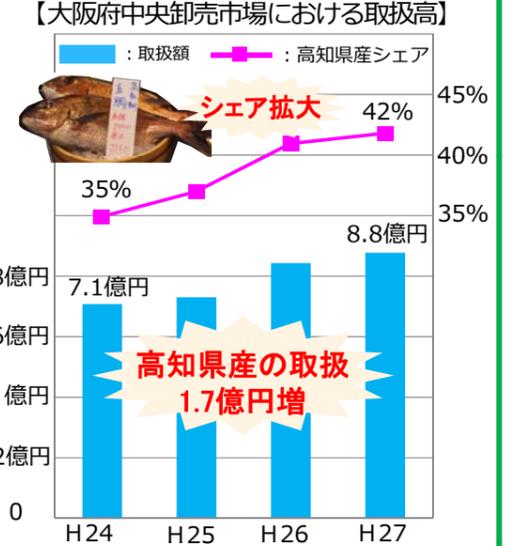
【養殖クロマグロの収穫量】

地域産業の振興に向けて

■ 宿毛市を起点とした6時間圏域の拡大



● 養殖真鯛取扱高の増加



● 高知県の養殖真鯛生産



■ 黒潮町のスポーツ合宿・大会誘致

● 施設の利用可能人数の拡大

クレイ舗装から人工芝整備中

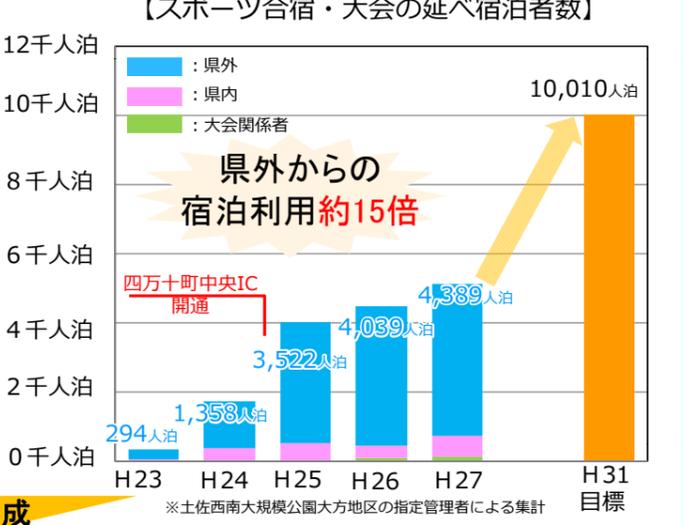
- ・ サッカーコート2面
- ・ H29年度完成予定

▲ 県外チームのサッカー合宿

● 宿泊可能人数等の拡大

- ・ 宿泊受入等のワンストップ窓口の構築 (一社) 幡多広域観光協議会、H29年4月予定)
- ・ 宿泊施設の機能強化 (黒潮町、H28～29年度予定) ※中山間地域の集落活動拠点「集落活動センター『出会いの里蜷川』」
- ・ 誘致担当者の増員 (指定管理者、H28年4月までに2名)

◆ これまでの開通と取り組みによる効果

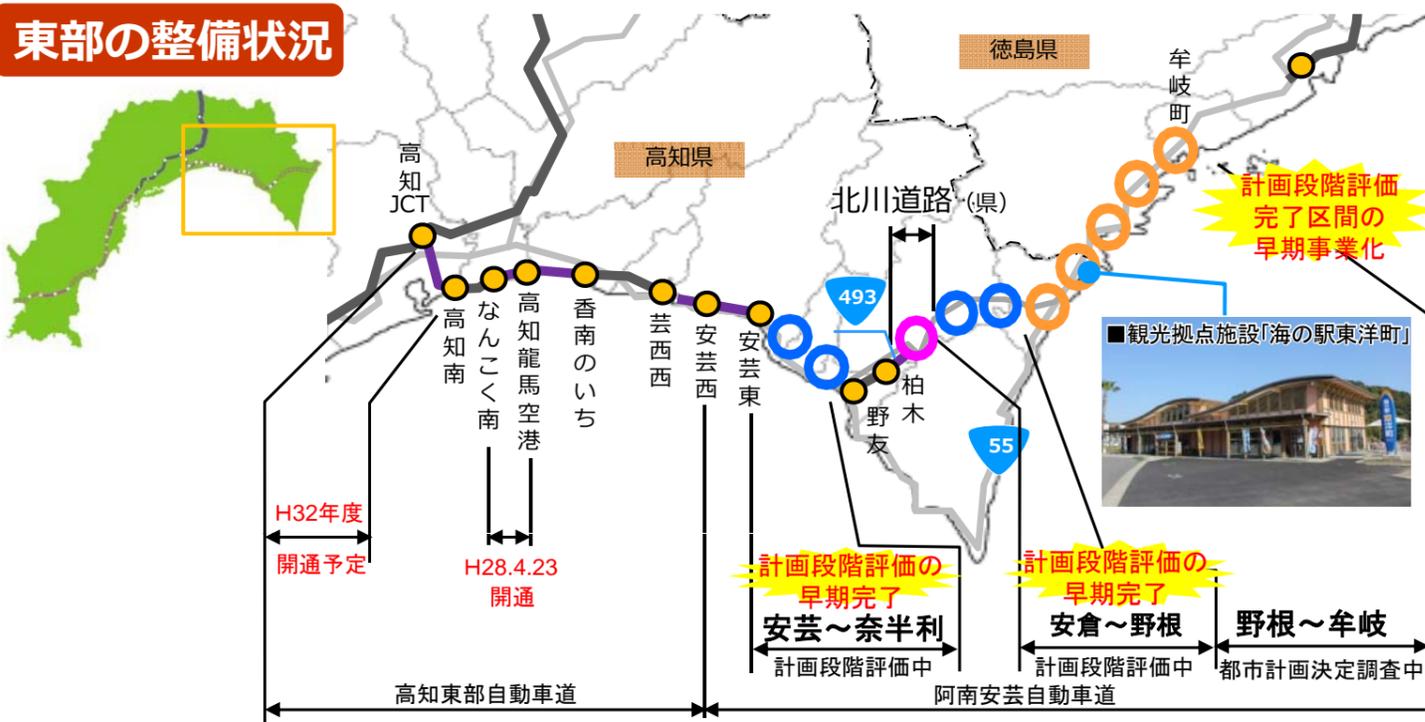


- ・ 近畿地方の大消費地や中国地方の日本海側まで、販路・商機が拡大
- ・ 6時間圏域人口は、約3倍の26百万人に増加
- ・ 輸送時間の短縮により、消費期限が短い商品の取扱いが可能

8の字の完成

高知県東部（高知東部自動車道・阿南安芸自動車道）のミッシングリンクの早期整備

東部の整備状況



高規格道路の延伸を見据えた取り組み

東洋町の観光振興の取り組み

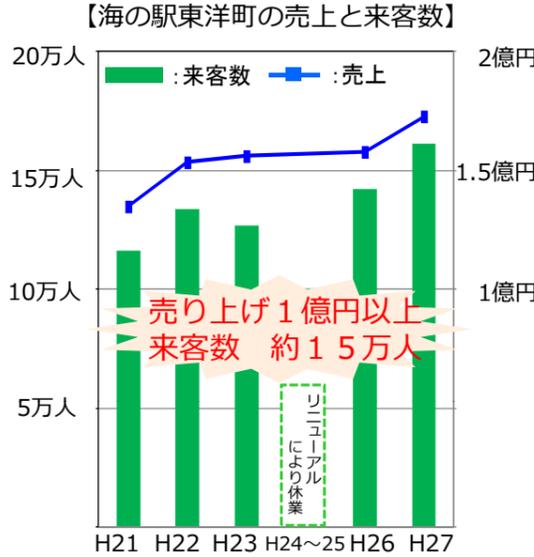
- 特産物を活かした観光客誘致



▲ ご当地グルメ「じゃんじゃん」 ▲ 新鮮な魚介を使用した海鮮丼

- 観光情報の発信や地元海産物などを販売する観光拠点施設「海の駅東洋町」をリニューアル(平成26年1月オープン)
- ご当地グルメや地元漁港直送の魚介類を使用した海鮮丼をはじめ、オリジナルメニューを提供

◆ 産業振興の取り組みによる効果



● 魅力あふれる自然を活かした観光客誘致



▲ 国内屈指のサーフスポット「生見海岸」

- 観光イベント「高知家・まるごと東部博」を契機に、H27年度からマリンスポーツなどの観光体験プログラムを充実
 - 新たに3つの観光体験プログラムを追加し、7つのプログラムを展開
- ⇒新たな観光スポットが誕生

● 地域の取り組みを支える8の字の整備により、産業や観光の振興を後押し

災害発生時の代替路の確保に向けて

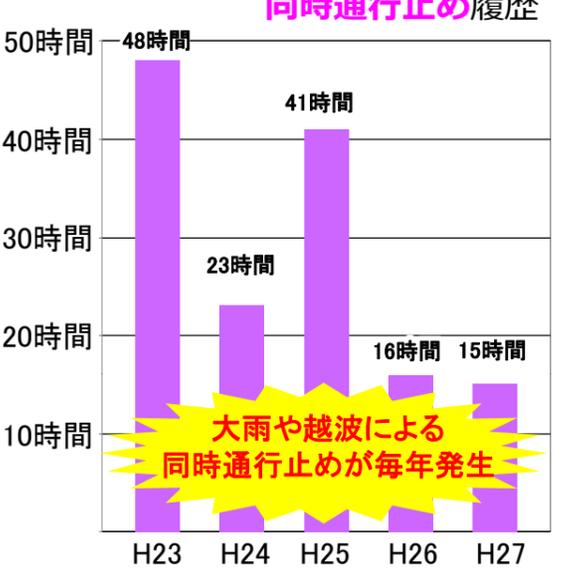
■ 南海トラフ地震時の防災拠点間の通行確保



(安芸市～東洋町)

■ 異常気象時の代替路の確保

- 国道55号・国道493号 同時通行止め履歴



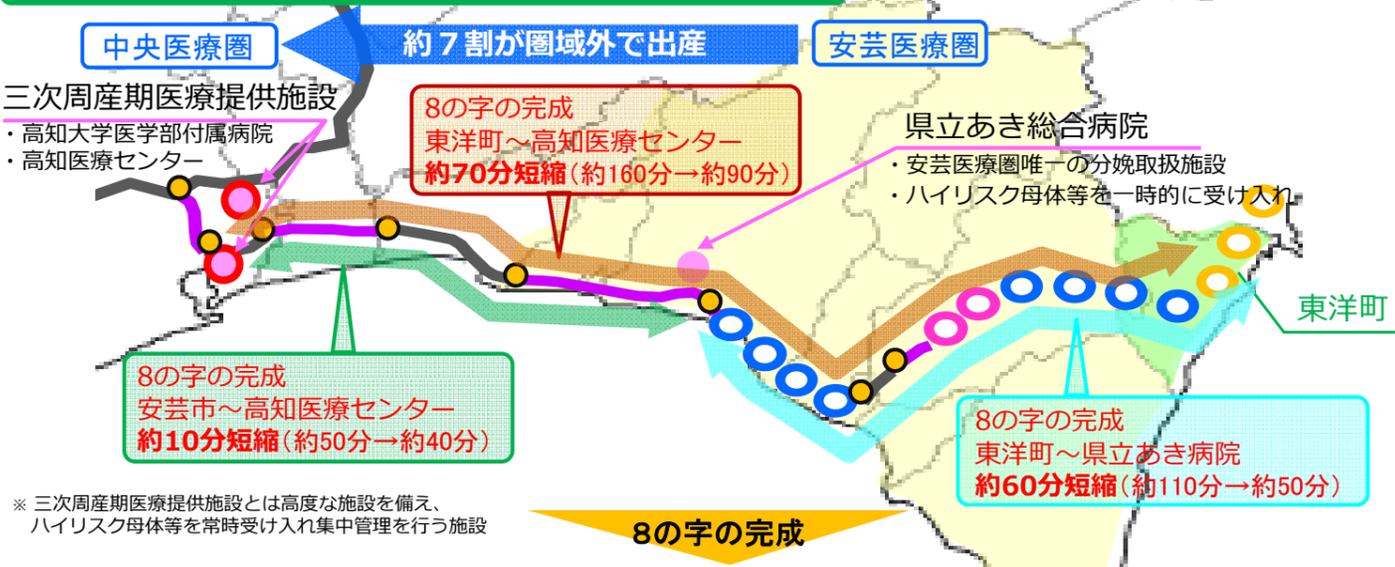
● 同時通行止めにより、東洋町への交通が途絶

8の字の完成

- 東洋町への災害に強く安全な物資輸送等のルートが確保
- 異常気象時等で通行止めとなる区間の回避が可能

- 津波浸水の影響を受けないルートを確保
- 東洋町と総合防災拠点(安芸市総合運動場)との間が陸路で繋がる日数は約1日に短縮

出産環境の向上や移住・定着促進に向けて



※ 三次周産期医療提供施設とは高度な施設を備え、ハイリスク母体等を常時受け入れ集中管理を行う施設

- 移動時間の減少、定時性の向上により検診や出産のための移動に伴う精神的、体力的な負担が軽減
- 受入れ体制構築にかかる医療従事者の負担軽減、限られた医療資源の連携を強化
- 安全で安心な周産期医療の環境が確保され、地方での若者の移住・定着につながる期待